

国連「水と衛生に関する諮問委員会」の概要

1. 諮問委員会の目的と性格

持続可能な開発を達成するうえで中心的な存在となる水の問題について、グローバルな対応を強化することを目的とした、コフィ・アナン国連事務総長（当時）により設立された独立諮問機関。

2. 経緯と概要

- (1) 2004（平成 16）年の世界水の日（3月22日）、アナン事務総長は、「水と衛生に関する諮問委員会」を設置し、橋本龍太郎元総理を議長とすることを発表。
- (2) 2006（平成 18）年3月まで5回にわたり集中的な討議を行い、「諮問委員会行動計画」を策定（同年7月に「橋本行動計画」と改名）。
- (3) 2006（平成 18）年12月の第7回会合より、ウィレム・アレクサンダー皇太子が議長就任。
- (4) 現在、「橋本行動計画」の実行に向けて、“国連水に関する行動の10年（2005 - 2015）”との連携を図りつつ、世界の各地域と対話を重ねているところ。
- (5) 委員メンバー（2007（平成 19）年5月現在、21名）
 ウィレム・アレクサンダー皇太子（議長）
 ウッシー・アイト：ドイツ連邦経済協力開発省政務次官（副議長）
 アンヘル・グリア：経済協力開発機構（OECD）事務総長／元メキシコ財務大臣
 ワン・シェチュン：中華人民共和国水利部長
 尾田栄章氏（元河川局長／前日本水フォーラム事務局長） 等

3. 「橋本行動計画」の概要

- (1) 6つの重要な分野（①資金調達、②水事業体の能力開発、③衛生、④モニタリングと報告、⑤統合水資源管理、⑥水と災害）を切り口に、世界が直面している水問題に対して取り組むべき行動を示している。
- (2) それまでの水問題の国際的議論の中であまり重要視されていなかった「水と災害」を行動計画に位置づけるなど、橋本議長の下で、国際的議論を先導してきた。



コフィ・アナン国連事務総長と諮問委員（2004年7月ニューヨーク国連本部）

4. これまでの開催状況と予定

- 2004（平成16）年 3月：設立表明
- 2004（平成16）年 7月：第一回会合（於ニューヨーク）
- 2004（平成16）年12月：第二回会合（於東京）
- 2005（平成17）年11月：第三回会合（於ローマ）
- 2006（平成18）年 2月：第四回会合（於ベルリン）
- 2006（平成18）年 3月：第五回会合（於メキシコ）
 - ・「諮問委員会行動計画」を策定
- 2006（平成18）年 7月：第六回会合（於パリ）
 - ・「橋本行動計画」を改名
 - ・地域との対話を進めることを決定
- 2006（平成18）年12月：第七回会合／アフリカの対話（於チュニジア）
- 2007（平成19）年 5月：第八回会合／アジアの対話（於上海）
- 2007（平成19）年11月：第九回会合／南米の対話（於コロンビア）